

特色ある学校づくりに係る資料（令和6年度）

学番	特7	学校名	県立村上特別支援学校	校長氏名	大谷 誠
----	----	-----	------------	------	------

I 校長として目指している学校像

1 本校教育の基本理念

人間尊重の精神を理念とした学校教育目標「かがやこう」の下、「子ども一人一人がかがやく」を念頭におき、個に応じた教育を充実させながら、子どもの成長を支援する。また、当校の役割を誠実に果たすことで、子供や保護者、地域、広く県民の期待に応える「信頼される学校づくり」を目指す。

2 学校経営の柱

- (1) 子どもたちを中心に据えた教育の推進
- (2) 子どもたち一人一人の特性や発達に応じた教育の推進
- (3) 円滑な人間関係を基にした組織的・機能的な学校運営

II 学校の目標を実現するために必要な教師像

- 子どもや保護者の気持ちに寄添うことのできる人間性豊かな教師
- 組織の一員としての自覚をもって学校経営に参画できる教師
- 授業実践、実践的研修・研究活動に自主的、積極的に取り組む教師
- 学校と関係機関等との行動連携を一層推進するために取り組む教師
- 特別支援学校教員免許状等を有した専門性の高い教師

III 本年度の学校教育課題

「子どもの確かな成長を促し、地域に信頼され愛される学校」を目指して

○学校の内側に向けて

- ・ いじめを許さない安全安心な学校づくり
(子どもの心身の安全を最優先した活動計画と具体的な対応、医療的ケア、訪問教育の充実)
- ・ 生徒の進路実現
(小中高一貫したキャリア教育の推進、就労意欲・企業就労率の向上)
- ・ 教員の専門性の向上 (ICTの活用、OJT研修の充実)
- ・ 学習指導要領を踏まえた教育課程や授業の改善
- ・ 働き方改革の推進
(ワークバランス、心身の健康の保持、個の視点と組織としての視点)
- ・ 寄宿舎における個に応じた指導の充実 (卒業後の自立に向けた生活力の向上)

○学校の外側に向けて

- ・ 地域と協働した教育活動の推進 (自治会、企業、福祉事業所等)
- ・ 特別支援教育のセンター的機能の充実 (持続可能な相談支援体制の構築)
- ・ 交流及び共同学習の推進 (小中高等学校や地域などとの交流活動の推進)
- ・ 教育活動のメディア発信を通した特別支援教育の理解啓発の推進
(ホームページ、SNS、各種メディア)